

来年の公務激増が案じられる 「雅子妃」ぎっくり腰



日本赤十字社の名誉総裁は
雅子妃へバトンタッチ



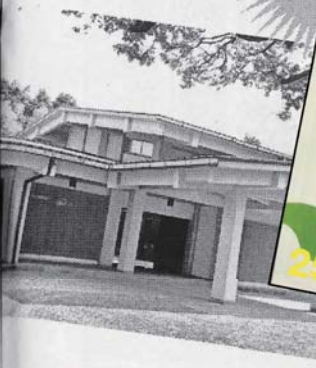
- ▶ 晩餐は深夜1時だから御一家別々の食卓
- ▶ 朝まで寝付けず「真夜中の散策」
- ▶ 学習院を欠席がちになった「愛子さま」

そのスタイルは、今なお続いているといい、
「数年前に比べ、妃殿下のお出ましは日に見えて増えていますが、基本的にこのサイクルは変わっていません。現在は、ご公務の日に照準を合わせ、ご体調をアジャストさせるよう数日前から生活時間を修正なさるなど、準備に入られます。そして、1つのご公務が終

「アジャスト」は

子さまが学習院初等科に通われていた時期に遡ります。2年生の終わり頃、いわゆる「不登校騒動」が持ち上がり、皇太子殿下や雅子妃殿下はおよそ1年半にわたり、愛子さまのご登校にお付添いなさってききました。ですが、その問題も4年生の中頃にはほぼ解消され、妃殿下のお付添いも終了。つまりは愛子さまに合わせて早朝に起床なさる必要がなくなつたのです」
毎朝のお役目から解放さ

の根源



「6月22日に行われた小田...」

「6月22日に行われた小田...」

「6月22日に行われた小田...」

「6月22日に行われた小田...」

「6月22日に行われた小田...」

「あいちせはね病院の伊藤全哉院長が言う。」「ぎっくり腰は、くしゃみや掃除機の操作など、ささいなことでも腰に力がかかって誘発される場合がありま

「このまま10カ月で」「新宮内庁は、雅子妃が「ぎ」と発表した。一方、か「昼夜逆転」生活は、いまという。愛子さまのご休え、御代替わりの先は大

肩担当記者が言う。... 疲れを挙げていましたが、結論としては「それが直接...」